NPO 法人　相双に新しい精神科医療保健福祉システムをつくる会

相双ＣＯＣＯＲＯニュースなごみ

第 14 号　H28 年 9 月吉日
発行元　KCN　ニュースレター　編集部
ホームページ　http;//nagomi.soso-cocoro.jp
Facebook ページ　https://www.fb.me/cocoro.nagomi

DNGL（災害看護グローバルリーダー）実習を受け入れました

DNGL は、国公私立５つの大学が共同し、災害時に国際的に活躍する看護師養成を目指す大学院です。昨年は ８ 名、今年は ４ 名の実習生を受け入れました。将来、中長期支援が必要な大きな災害が発生したとき、DNGL の卒業生が私たちの活動を思い出していただけばありがたいです。（米倉）

第１回こころのボランティア養成講座が修了しました

精神に障がいを持ちながら地域で生活を送られている方の社会参加を支援するため、また精神障がいへの偏見を少しでもなくすことを目的として５月より６回シリーズで始めた講座も、８月に無事 12 名の修了生を送り出すことができました。参加者のモチベーションが高く、回を重ねるごとに白熱した議論が展開され、今後地域での活躍が頼もしい限りです。（木島）

寄付をくださったみなさま（平成 28 年４月～平成 28 年８月）

盛岡ハートネット事務局
株式会社医学書院
みぬま福祉会　東日本大震災被災地委員会
個人のみなさま　４名

合計　358,000 円
書き損じハガキ　44 枚
ベルマーク　51.4 点分

みなさまからいただいた寄付金は、NPO 法人の運営資金として使わせていただいております。
誠にありがとうございます！

会員の皆様　今年度の会費納入をよろしくお願いいたします

１．正会員　　年会費　一口 10,000 円
２．賛助会員　年会費　一口　3,000 円

【新規会員のお申し込み方法】
会員種別（正会員または賛助会員）・氏名・住所・
所属先・職業・電話番号・メールアドレスを明記の上、
下記住所に申込書を郵送または FAX してください
以下のホームページアドレスから申し込むこともできます
http://soso-cocoro.jp/

新規会員募集中です！

会員になってくださった方には、
定期的に会報や現地の情報を送らせていただきます
是非ご検討下さい

会費の振り込み方法：郵便振込
口座番号：02260-0-126825
口座名義：特非　相双に新しい精神医療保健福祉をつくる会

※会報発送時点で、今年度の会費が未納の会員の方には振込用紙を同封しております。すでにお支払いくださった方に行き違いにて届いた際にはご容赦ください。

お問い合わせ　なごみ相馬事務所
〒976-0016　福島県相馬市沖ノ内１丁目 2-8
電話　0244-26-9753
FAX　0244-26-9739
アドレス nagomi@soso-cocoro.jp

平成 28 年度 NPO 法人総会の報告

平成 28 年６月 26 日（日）相馬市総合福祉センターはまなす館において当法人の総会を開催しました。震災直後の平成23年６月、法人設立のための第１回目の会合が開かれ、この年の 11 月には法人が設立されました。以後、毎年事業を拡大してきましたが、今後は事業の質と継続性を問われる時期に入ったと言えます。被災地の記憶が薄れる中、私たちが行う「心のケア」をどのように伝えていくか考え続けていきたいと思います。（米倉）

ティーパーティーのご報告

総会の後にお茶会を開催し、地元のスイーツを食べながら、コーヒータイムの美味しいコーヒーをいただきました。新地のトマト、松川浦の子女子、原町区石神地区の漬物など、復興を感じるモノも用意しました。また、なごみクラブや訪問先の皆さんの素敵な作品も見ていただきました。話題は、日頃の活動や復興の進み具合、地域の課題に至るまで。こんな何気ない対話から、次の取り組みが生まれて行くのでは？と感じました。次回は、皆様参加してくださいね。（伏見）

理事あいさつ　◆安保（あんぽ）　寛明（ひろあき）◆

2015 年度より法人理事に選出された、安保です。私は山形県立保健医療大学で教職に就いていますが、相双地域には震災の前からお伺いしており、職員の何人かの方とはその頃からの縁が続いております。

さて、近年の精神保健福祉医療はリカバリー（回復）モデルへの転換が進み、精神症状や障害よりも人生の前向きさや力に注目するようになっています。その意味で、各事業所での支援は当事者や家族の希望を重視しておりますし、個別支援以外にも総会後のティーパーティーによって地域と法人がつながる試みも行われました。相双地域と法人がこれからも前向きさや力を伸ばせるよう願うとともに、私自身も法人と相双地域を応援していきたいと思います。

訪問看護ステーションなごみより

最近、心に残ったこと

いくつか、「心に残ったこと」はありますが、リカバリーの構成要素のひとつである「希望」を利用者と一緒につくることができた瞬間です。訪問していても、なかなか関係性を築くことが難しいケースで、「やりたいこと」「希望」が何もないというケースは、特に表現してくれたときは支援を続けていてよかったと思います。（児島）

新スタッフ紹介　◆服部（はっとり）　正仁（まさと）◆

８月から訪看に配属となりました。好物はこれから旬の秋刀魚で、大相撲観戦と水泳好きのうま年 50 才です。職種は作業療法士(OT)で、先月までは福島市の精神科病院で入院患者さんやデイケア通所中の方々と様々なリハビリ活動を共に行ってきました。訪問看護ではご本人やご家族への個別支援がメインとなりますが訪問先の皆さんのお役に立てるよう、これまでの経験を生かして仕事に励んでゆきたいと思いますのでよろしくお願い致します。

地域活動支援センター・相談支援事業所 なごみ CLUB より

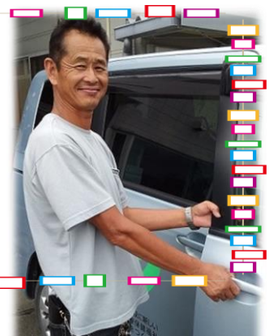
活動報告

地域活動支援センターなごみ CLUB は、今年の 7 月から新たに木曜日も開催することになりました。筆や絵の具などを使って絵や文字などを書き、美術的センスを磨こうということで「美術部」という名前で活動をしています。また、パソコンを使ってインターネットをしたり、文章を作成したり、チラシを作ったりなどすることもあります。今まで機会がなくて諦めていた方や、自信はないけど興味があるという方などは、なごみ CLUB までご連絡ください。（工藤）

新スタッフ紹介　◆古賀（こが）　久恵（ひさえ）◆

NGO 職員の夫の転勤に伴い東京から東北に来ました。岩手県、宮城県、福島県と移動し、東北で６回目の夏を過ごしています。なごみクラブでは、週に１回、趣味活動を担当しています。主に参加者の方が「これまでやってみたかったこと」が実現できるように、PC、筆ペン、図画などの講座を開いています。参加者の方々が持たれた興味が、さらに深く広がる助けになるように、知識と技術を"楽しく"ご紹介することを心がけています。

新スタッフ紹介　◆佐久間（さくま）　勝充（かつひろ）◆



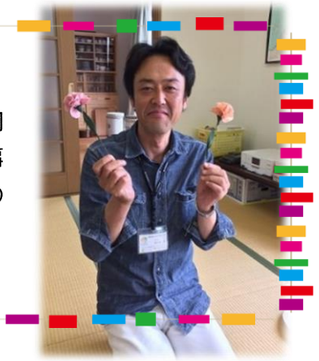
なごみ CLUB の運転手として働くことになりました。大熊町出身です。震災前は、双葉厚生病院で訪問看護の佐藤照美さん鈴木郁子さんと働いていました。定年退職後、避難先の会津若松市から相馬市に転居しました。また以前の仲間と働けるようになったのでとてもうれしいです。趣味は、釣りなどアウトドア全般です。これからも末永くよろしくお願いいたします。

相馬広域こころのケアセンターなごみより

地域の様子

７月 12 日に小高区の大部分が避難解除されました。これまでも新築家屋の建設やリフォーム、除染が行われていましたが、解除と共に更に工事車両が増えたように感じます。解除当日のような賑やかさは落ち着きましたが、まだこれから帰還する方々の準備が進められています。これからなごみがやらなければならないのは支援地域拡大への対応。限られたマンパワーで飯舘村や浪江町への訪問を現実のものとして考える段階を迎えました。（西内）

新スタッフ紹介　◆木川田（きかわだ）　徹（とおる）◆



東日本大震災当時、双葉郡富岡町に住んでいました。震災以降、宮城県内で被災者支援に携わる仕事をしてまいりましたが、福島県においては原発事故に伴う復興の難しさを感じています。社会福祉士として相双地区の皆様の生活のお役に立てるよう努力していきますので、よろしくお願いします。

P.S. 無趣味なので土日暇気味です。趣味募集中！

新スタッフ紹介　◆田中（たなか）　久美子（くみこ）◆

生まれは浅草、育ちは葛飾柴又というチャキチャキの東京下町っ子です。2011 年まで福島県立医科大学で 2 年間勉強していて、福島が大好きになりました。今は福島は私の第二の故郷です。震災後は神奈川県で働いていましたが、今回、5 年ぶりに福島へ戻って働けることになり、本当に嬉しく思っています。専門はがん看護で精神看護は初めてですが、新人に戻った気持ちで頑張ります。

動機付け面接（motivational interviewing）ワークショップを開催しました

８月 20 日、21 日の二日間、東京の駒木野病院アルコール総合医療センターの関口慎治氏と中込吉宏氏のお二人を講師にお迎えし、動機付け面接法のワークショップを開催しました。動機付け面接は、「協働」「受容」「喚起」そして「思いやり」の 4 つの精神のもとに、相談者の内発的な動機を引き出すことを目的とした面接技法です。

はじめは緊張していた参加者も、体や頭を使った演習中心のワークショップに徐々に入りこみ、楽しんでいただけました。「継続して練習したい」「仕事に生かしたい」といったご意見が寄せられました。（河村）